

平成23年3月14日

フェーズ別被災地支援メニュー

1 緊急・応急期

(1) 救急・救助対策	1
(2) 医療対策	2
(3) 避難所対策	4
(4) 被災住宅対策	7
(5) 現場応急対策	9
(6) ライフラインの復旧	10
(7) 遺体の対応	10
(8) 教育対策	10

フェーズ別被災地支援メニュー

1 緊急・応急期

(1) 救急・救助対策

部局名	支援項目	(要請に基づく場合) 要請元	支援内容	支援時期(期間)	支援可能 数量(人員)	対応状況																											
企画県民部 (防災)	消防活動(緊急消防援助隊の派遣)	消防庁	3月11日 20:57 総務省消防庁から緊急消防援助隊の応援要請 23:00 三木広域防災センターに集結 ※阪神ブロックの隊については、名神高速桂川パーキン グエリアにて合流 23:30 東京に向け出動(後に、福島県郡山方面に変更) 3月12日 12:58 消防庁からの指示で、救助任務のためヘリ1機待機 19:30 指揮支援隊が福島県庁に到着。今後の活動調整を福島 県と行う。 3月13日 13:30 宮城県山元町に向け移動中。 3月14日 9:00 第2次派遣隊(65隊263人)を宮城県山元町へ派遣 (被災地で活動している第1次派遣隊と交代) ○出動隊数等(65隊263人) <table><tr><td>隊種別</td><td>隊数</td><td>人数</td></tr><tr><td>指揮支援隊</td><td>1</td><td>4</td></tr><tr><td>県指揮隊</td><td>1</td><td>15</td></tr><tr><td>消火部隊</td><td>20</td><td>91</td></tr><tr><td>救助部隊</td><td>11</td><td>55</td></tr><tr><td>救急部隊</td><td>17</td><td>52</td></tr><tr><td>後方支援部隊</td><td>11</td><td>35</td></tr><tr><td>特殊装備部隊</td><td>4</td><td>11</td></tr><tr><td>計</td><td>65</td><td>263</td></tr></table>	隊種別	隊数	人数	指揮支援隊	1	4	県指揮隊	1	15	消火部隊	20	91	救助部隊	11	55	救急部隊	17	52	後方支援部隊	11	35	特殊装備部隊	4	11	計	65	263	3月11日～		派遣済み
隊種別	隊数	人数																															
指揮支援隊	1	4																															
県指揮隊	1	15																															
消火部隊	20	91																															
救助部隊	11	55																															
救急部隊	17	52																															
後方支援部隊	11	35																															
特殊装備部隊	4	11																															
計	65	263																															
県警察本部	警察活動(広域緊急援助隊の派遣)	警察庁	3月11日 警察庁の指示により、岩手県に向け166名が出動 3月12日 警察庁の指示により、福島県に向け20名が出動	3月11日～		派遣済み																											

フェーズ別被災地支援メニュー

(2) 医療対策(その1)

部局名	支援項目	(要請に基づく場合) 要請元	支援内容	支援時期(期間)	支援可能 数量(人員)	対応状況																																						
健康福祉部	DMATの派遣	厚生労働省	<div>3月12日 3:26 国から、公立豊岡病院を除くDMAT(災害派遣医療チーム)に対して、伊丹空港(参集拠点)に移動を開始せよとの指示あり</div> <div>【各チームの活動状況】</div> <table><thead><tr><th>名 称</th><th>人数</th><th>出動日時</th><th>到着時刻</th><th>現 状</th></tr></thead><tbody><tr><td>兵庫県災害医療センター</td><td>6</td><td rowspan="4">伊丹空港 3/12 6:50</td><td rowspan="4">花巻空港 10:00</td><td rowspan="4">花巻空港SCU(広域搬送拠点医療管理所)等において活動</td></tr><tr><td>神戸大学附属病院</td><td>5</td></tr><tr><td>兵庫医科大学</td><td>5</td></tr><tr><td>国立姫路医療センター</td><td>6</td></tr><tr><td>公立豊岡病院</td><td>4</td><td>公立豊岡病院 3/12 6:40</td><td>福島県立医科大学 10:53</td><td>霞目SCUにおいてドクターヘリで活動(山形県立中央病院・置賜病院等への患者搬送)</td></tr><tr><td>神戸市中央市民病院</td><td>5</td><td rowspan="3">伊丹空港 3/12 13:00</td><td rowspan="3">花巻空港 16:30</td><td rowspan="6">花巻空港SCU(広域搬送拠点医療管理所)等において活動</td></tr><tr><td>市立西脇病院</td><td>6</td></tr><tr><td>赤穂市民病院</td><td>6</td></tr><tr><td>県立加古川医療センター</td><td>5</td><td rowspan="3">伊丹空港 3/12 15:14</td><td rowspan="3">花巻空港 17:30</td></tr><tr><td>県立姫路循環器病センター</td><td>5</td></tr><tr><td>県立柏原病院</td><td>5</td></tr></tbody></table> <div>※ 公立豊岡病院の隊は、ドクターヘリで移動。その他の隊は、自衛隊機で移動。 ※ 3/13 18:25 兵庫県災害医療センターから、新たに1チームが広域搬送用医療資機材を持参し、花巻空港に向け出動。</div>	名 称	人数	出動日時	到着時刻	現 状	兵庫県災害医療センター	6	伊丹空港 3/12 6:50	花巻空港 10:00	花巻空港SCU(広域搬送拠点医療管理所)等において活動	神戸大学附属病院	5	兵庫医科大学	5	国立姫路医療センター	6	公立豊岡病院	4	公立豊岡病院 3/12 6:40	福島県立医科大学 10:53	霞目SCUにおいてドクターヘリで活動(山形県立中央病院・置賜病院等への患者搬送)	神戸市中央市民病院	5	伊丹空港 3/12 13:00	花巻空港 16:30	花巻空港SCU(広域搬送拠点医療管理所)等において活動	市立西脇病院	6	赤穂市民病院	6	県立加古川医療センター	5	伊丹空港 3/12 15:14	花巻空港 17:30	県立姫路循環器病センター	5	県立柏原病院	5	3月12日から活動中		派遣済み
名 称	人数	出動日時	到着時刻	現 状																																								
兵庫県災害医療センター	6	伊丹空港 3/12 6:50	花巻空港 10:00	花巻空港SCU(広域搬送拠点医療管理所)等において活動																																								
神戸大学附属病院	5																																											
兵庫医科大学	5																																											
国立姫路医療センター	6																																											
公立豊岡病院	4	公立豊岡病院 3/12 6:40	福島県立医科大学 10:53	霞目SCUにおいてドクターヘリで活動(山形県立中央病院・置賜病院等への患者搬送)																																								
神戸市中央市民病院	5	伊丹空港 3/12 13:00	花巻空港 16:30	花巻空港SCU(広域搬送拠点医療管理所)等において活動																																								
市立西脇病院	6																																											
赤穂市民病院	6																																											
県立加古川医療センター	5	伊丹空港 3/12 15:14	花巻空港 17:30																																									
県立姫路循環器病センター	5																																											
県立柏原病院	5																																											
健康福祉部 病院局	救護班(医師、看護師、薬剤師の派遣)	厚生労働省	救護所における医療提供、被災地内病院に対する人的支援等 ①災害拠点病院の医師及び看護師等で編成した救護班を派遣 ②医療関係団体(医師会・看護協会等)と救護班派遣体制について調整中	【時期】 支援連絡要員による被災地のニーズ把握・被災県からの要請等に基づき実施 【期間】 出発地から被災地までの往復時間を含め、1週間程度	4災害拠点病院(4チーム) ※1チーム当たり5人(医師、看護師、連絡調整員)																																							

フェーズ別被災地支援メニュー

(2)医療対策(その2)

部局名	支援項目	(要請に基づく場合) 要請元	支援内容	支援時期(期間)	支援可能 数量(人員)	対応状況
健康福祉部	日赤兵庫県支部の医療救護班の派遣		3月11日 18:35 医療救護班1班を岩手県に派遣 13日 13:35 釜石市教育センターにて、車中で診療開始 13日 17:00 仮設診療所での診療開始 ・派遣車両 dERU(緊急対応仮設診療)資材搬送トラック 2台 神戸赤十字病院救急車 1台 災害救援支援車両 1台 ・派遣要員 医師1名、看護師4名、薬剤師1名、臨床検査技師 1名、診療放射線技師1名、事務職5名 計13名	3月11日～		派遣済み
健康福祉部 病院局	患者の受け入れ(透析患者等)	厚生労働省	災害拠点病院において、必要な医療を提供 ※受入患者数が増加した場合、他の医療機関での受入を検討 (透析医会等の医療関係団体との調整が必要)	【時期】 支援連絡要員による被災地の ニーズ把握・被災県からの要 請等に基づき実施		
健康福祉部	防疫対策支援(クレゾール、逆性石けん 等物資支援)	被災県	感染症予防のための噴霧式の消毒薬を提供 ・防疫手の派遣について、厚生労働省が一元的に調整中 ・県内では神戸市に対して派遣の要請があり、防疫手の派遣を 予定	【時期】 支援連絡要員による被災地の ニーズ把握・被災県からの要 請等に基づき実施		
健康福祉部	県立衛生研究所の検査支援	被災県	被災地において感染症が集団発生した際、健康生活科学研究所に おいて、原因を調査するための検体検査を実施	【時期】 支援連絡要員による被災地の ニーズ把握・被災県からの要 請等に基づき実施		

フェーズ別被災地支援メニュー

(3) 避難所対策(その1)

部局名	支援項目	(要請に基づく場合) 要請元	支援内容	支援時期(期間)	支援可能 数量(人員)	対応状況																											
企画県民部 (防災) 健康福祉部 企業庁	救援物資の提供(食料、飲料水、毛布、 ブルーシート、仮設トイレ等)	被災県	①送付先:宮城県 ②送付物資の内容 <table><tr><th>項 目</th><th>数 量</th><th>備 考</th></tr><tr><td>α化米</td><td>1 0, 0 0 0食</td><td></td></tr><tr><td>毛 布</td><td>5, 0 0 0食</td><td></td></tr><tr><td>ブルーシート</td><td>1, 0 0 0枚</td><td></td></tr><tr><td>仮設トイレ</td><td>1 0 0基</td><td></td></tr><tr><td>飲料水</td><td>1 0, 0 0 0本</td><td>5 0 0ml／本</td></tr><tr><td>飲料水用ポリタンク</td><td>2 5 0個</td><td>1 0³/₄ℓ・2 0³/₄ℓ／個</td></tr><tr><td>飲料水用ポリ袋</td><td>1, 0 0 0枚</td><td>6³/₄ℓ／枚</td></tr><tr><td>ほ乳瓶</td><td>5 0 0本</td><td>含、消毒用品</td></tr></table>	項 目	数 量	備 考	α化米	1 0, 0 0 0食		毛 布	5, 0 0 0食		ブルーシート	1, 0 0 0枚		仮設トイレ	1 0 0基		飲料水	1 0, 0 0 0本	5 0 0ml／本	飲料水用ポリタンク	2 5 0個	1 0 ³ / ₄ ℓ・2 0 ³ / ₄ ℓ／個	飲料水用ポリ袋	1, 0 0 0枚	6 ³ / ₄ ℓ／枚	ほ乳瓶	5 0 0本	含、消毒用品	3月13日送付先へ出発		送付済み
項 目	数 量	備 考																															
α化米	1 0, 0 0 0食																																
毛 布	5, 0 0 0食																																
ブルーシート	1, 0 0 0枚																																
仮設トイレ	1 0 0基																																
飲料水	1 0, 0 0 0本	5 0 0ml／本																															
飲料水用ポリタンク	2 5 0個	1 0 ³ / ₄ ℓ・2 0 ³ / ₄ ℓ／個																															
飲料水用ポリ袋	1, 0 0 0枚	6 ³ / ₄ ℓ／枚																															
ほ乳瓶	5 0 0本	含、消毒用品																															
健康福祉部	ベビー用品の提供	被災県	被災地の子育て家庭に対し、次のベビー用品を提供 ・ほ乳びん ・ほ乳びん消毒剤 ・ほ乳びん消毒ケース ・紙おむつ ・おしりナップ ・離乳食 ・ベビーバス	【3月13日発送分】 ・ほ乳びん 500個 ・ほ乳びん消毒剤 300個 ・ほ乳びん消毒ケース 30個 【追加発送予定分(時期調整中)】 ・ほ乳びん消毒剤 200個 ・ほ乳びん消毒ケース 470個 ・紙おむつ 1,000個 ・おしりナップ 1,000個 ・離乳食 7,500個 ・ベビーバス 100個	・ほ乳びん 500個 ・ほ乳びん消毒剤 500個 ・ほ乳びん消毒ケース 500個 ・紙おむつ 1,000個 ・おしりナップ 1,000個 ・離乳食 7,500個 ・ベビーバス 100個	発送済み																											
企画県民部 (防災)	見舞金の送付		① 送付先:岩手県、宮城県、福島県 ② 金 額:100万円																														

フェーズ別被災地支援メニュー

(3) 避難所対策(その2)

部局名	支援項目	(要請に基づく場合) 要請元	支援内容	支援時期(期間)	支援可能 数量(人員)	対応状況
産業労働部	災害関連資材の調達	政 府 被災県	災害関連資材の調達 ①災害救助機関用物資(ex:軍手・ゴム長靴・発動機等) ②緊急必需物資(ex:衣類・寝具・日用品等の生活用品等) ③応急復旧用物資(ex:土嚢用麻袋、鋼材等) ※備蓄物資や棺桶など担当が決まっている物資を除く (災害対策本部物資担当で一元的に調整)	要請があれば迅速に対応	必要に応じて対応 (要請を受けてから契約 業者・協定承諾団体・協 力団体に依頼)	
産業労働部	県内企業や本県ゆかりの海外地域など からの支援物資・義援金等の仲介		被災地に対する県内企業や本県ゆかりの海外地域(ワシントン、ロシ ア等)などからの復旧に向けた支援物資や義援金等を被災地に送る 仲介を行う。	支援希望があれば随時		
農政環境部	ごはん(おにぎり)炊き出しの実施		ごはんをたべよう国民運動において、県内の保育園、幼稚園等で実 施しているかまどごはん体験に用いるかまどを使い、被災地におい て暖かいおにぎりを供する炊き出しを行う。 避難所にかまどを設置し、ごはんを炊いておにぎりにし、当該避難 所及び周辺避難所に配布する。 ①かまど3基×2班体制 ②1班8回/日炊きで3,360個/日・班 計6,720個/日提供可能 ③インスタントみそ汁も併せて提供	調整でき次第速やかに実施 (7日間を想定)	10名×7日	
農政環境部	飲食料品の供給		災害対策用食品の供給協定品目のうち、調理せずに飲食可能なも の ○ 飲料(500mlペットボトル) ○ パン ○ レトルト食品 ○ 調理缶詰 ○ 育児調整用粉乳	随時可能 (県が要請してから現地集積 所到着まで2日間)	飲料、パン、レトルト食 品、調理缶詰をそれぞれ 8,000個(本)及び育児調 整用粉乳200個を登載し た10トラック5台分の供 給が可能 (供給可能総量) ・飲料 40,000本 ・パン 40,000個 ・レトルト 40,000個 ・缶詰 40,000個 ・育児粉乳 1,000個	

フェーズ別被災地支援メニュー

(3) 避難所対策(その3)

部局名	支援項目	(要請に基づく場合) 要請元	支援内容	支援時期(期間)	支援可能 数量(人員)	対応状況
農政環境部	炊き出し用機材の貸し出し		県内13普及センターに配置している、緊急支援炊き出し用の機材(ガスコンロ、大鍋等のセット)を宮城県内の農業改良普及センターへ貸し出す。 ※被害程度の比較的軽微な地域の普及センターを通して、被災住民への炊き出し支援を行う際に活用してもらう。	必要な期間		
健康福祉部	避難者の健康対策支援	厚生労働省	保健師を派遣し、被災者の健康チェック、健康相談、衛生相談、こころのケア相談等を実施	3月14日から活動予定 (仙台市役所) 終期は未定 1週間程度で交替	3月14～19日:2名 3月20日～:4名	派遣済み
健康福祉部	こころのケア支援	被災県	災害時のトラウマ・PTSDの専門家を派遣し、こころのケアに関する診療や相談を実施 ※兵庫県精神科病院協会、兵庫県精神神経科診療所協会、神戸大学附属病院等と派遣体制を調整中	支援連絡要員による被災地のニーズ把握・被災県からの要請等に基づき実施 (1～2週間後に派遣することを検討中)	調整中	
企画県民部	ボランティアの受け入れ支援 (救援ボランティアの派遣)	被災県等	【現状】 ・全国社会福祉協議会(全社協)が3/14(月)以降に、各府県社協に支援を要請する予定になっている。 (各府県単独でのボランティア派遣等は控えるよう、3/11(金)に全社協から各府県社協に依頼があった。) 【今後】 ①救援ボランティアの派遣 ・救援ボランティアを派遣する。 ・ボランタリープラザが当該派遣のためのバスをチャーターして被災地に届ける。 ②ボランティアコーディネーターの派遣 ・被災地においてボランティアコーディネーターが被災県との調整のもとで、各地から来るボランティアをコーディネート ③兵庫県のボランタリープラザHPにおける情報提供 (H23.3.12開設済) ・義援金、寄付金の受付先 (コープ神戸、(財)神戸新聞厚生事業団) ・ボランティア情報等の提供 (ボランティア募集内容や、ボランティアバスの運行状況等について今後掲載予定)	被災地のニーズにより対応	要請を踏まえ調整	

フェーズ別被災地支援メニュー

(3) 避難所対策(その4)

部局名	支援項目	(要請に基づく場合) 要請元	支援内容	支援時期(期間)	支援可能 数量(人員)	対応状況
企画県民部	県職員ボランティアの派遣の検討	被災県等	被災県等からの要請に基づき、県職員ボランティアの派遣を検討する。 (ボランティアプラザが募集するボランティア派遣に協力することも含め検討)	未定	未定	
健康福祉部	災害時要援護者対策支援(福祉施設等への職員応援、福祉業務職員の応援等)	被災県	児童・障害・高齢者施設協会と調整し、被災地の社会福祉施設に対して、必要な人的支援を実施	【時期】 支援連絡要員による被災地のニーズ把握・被災県からの要請等に基づき実施	調整中	児童・障害・高齢者施設協会と調整中

(4) 被災住宅対策(その1)

部局名	支援項目	(要請に基づく場合) 要請元	支援内容	支援時期(期間)	支援可能 数量(人員)	対応状況
県土整備部 (まちづくり)	応急危険度判定支援 ・被災建築物応急危険度判定士の派遣	国土交通省	被災建築物の、2次災害を軽減防止し、住民の安全を確保するために、被災建築物応急危険度判定士を被災地に派遣し、迅速かつ的確に建築物の応急危険度判定を実施する。	支援時期(期間)、支援地域は、今後、国土交通省からの要請に応じ対応。	行政の登録判定士815名の中から選定予定	
県土整備部 (まちづくり)	・被災宅地危険度判定士の派遣	国土交通省	大規模かつ広範囲に被災した宅地の、2次災害を軽減防止し、住民の安全を確保するために、被災宅地危険度判定士を派遣する。 被災宅地危険度判定士は、現地踏査により宅地の被災状況を調査し、危険度を分類し判定結果を当該宅地に標示し2次災害の軽減、防止に努める。	支援時期(期間)、支援地域は、今後、国土交通省からの要請に応じ対応。 支援時期は1～2週間後(建築物応急危険度判定終了後)を想定し、支援期間は1週間を想定。	15名(県職員3名、神戸市他各市町から12名)を予定し調整中。 ※行政の登録判定士は636名	

フェーズ別被災地支援メニュー

(4)被災住宅対策(その2)

部局名	支援項目	(要請に基づく場合) 要請元	支援内容	支援時期(期間)	支援可能 数量(人員)	対応状況
企画県民部 (防災)	家屋被害認定支援 ・家屋被害認定士の派遣		兵庫県で養成した家屋被害認定士を被災地に派遣し、迅速かつ的確に家屋の被害調査を実施	2週間後(ゴミ等の搬出、家屋の所在地の確認、応急危険度判定の終了後)の2週間程度 ※1週間程度で交替	625名(県職員・市町職員等)の登録者の中から選抜	
農政環境部 (環境担当)	災害廃棄物の処理支援(ごみ収集車、バキューム車等の派遣、焼却処理の応援)		要請があれば、県内市町と応援の調整を行い、実施する。			
農政環境部 (環境担当)	災害廃棄物処理経験職員の派遣		阪神・淡路大震災のときに、災害廃棄物処理を担当した職員を派遣し、災害廃棄物処理計画の策定、迅速な処理等について助言を行う。	状況に応じて派遣。期間は、3～4日程度。	2名(環境整備課職員より)	
農政環境部 (環境担当)	破碎機の提供 (近畿工業(株)の支援が可能な場合)		大型ごみ(木質系)の処理に役立つ破碎機を提供する。	3週間後(市街地からのごみ収集完了後)から1か月程度	近畿工業(株)から破碎機1台、10名程度	
農政環境部 (環境担当)	汚泥吸引車の派遣 (兵庫県環境整備事業協同組合)	全国環境整備事業協同組合連合会から兵環協に要請	汚泥吸引車約10台の派遣 (兵庫県環境整備事業協同組合)	具体の要請があつてから1週間程度(現在、準備中)	兵庫県環境整備事業協同組合から汚泥吸引車10台、20名程度	
県土整備部 (まちづくり)	被災者の受け入れ(公営住宅の一時入居受け入れ等)		家屋を喪失した被災住民に対し、県営住宅の空き住戸を提供する。	被災市町における仮設住宅、恒久住宅等の被災者受け入れ住宅が完成するまでの間	当面100戸程度	

フェーズ別被災地支援メニュー

(5) 現場応急対策

部局名	支援項目	(要請に基づく場合) 要請元	支援内容	支援時期(期間)	支援可能 数量(人員)	対応状況			
企画県民部 (防災)	先遣隊の派遣		兵庫県職員を派遣し、現地連絡所を開設 (関西広域連合の現地連絡所としても機能)			派遣済み			
			<table><tr><td>支 援 項 目</td><td>人 数</td><td>派 遣 先</td><td>現 状</td></tr><tr><td>被災地のニーズ把握</td><td>3 名</td><td>宮城県</td><td>3/13から数日程度派遣。</td></tr></table>				支 援 項 目	人 数	派 遣 先
支 援 項 目	人 数	派 遣 先	現 状						
被災地のニーズ把握	3 名	宮城県	3/13から数日程度派遣。						
県土整備部			先遣隊による状況・ニーズ把握 ・3～4名の先遣隊を派遣し、以下について調査、把握、確認。 ア) 土木施設の被災状況(総量、重点分野等) イ) 測量設計・建設業界の対応能力 ウ) 執行体制(被災地との協力体制、県の組織体制、現地事務所の状況等) ↓ 各フェーズごと(緊急・応急期、復旧期)の必要な支援内容を検討	○先遣隊 【期間】2～3日 3月16日(水)～18日(金)	3～4名(震災経験者の中から現在7～6級クラスの うち、道路、河川、港湾、 下水の分野から各1名選 出)				
企画県民部 (防災)	人と防災未来センター職員の派遣		支援調査を目的として、宮城県へ研究員3名を派遣	3月14日午後出発予定		調整済み			
県土整備部	応急復旧工事の支援		①応急復旧対策の立案支援 阪神・淡路大震災やH16年・H21年の大規模水害等のノウハウを活かし、以下の業務を支援。 ア)道路の仮復旧対策支援 瓦礫の堆積状況、地盤の液状化の有無の把握、被災橋梁の安全度の確認 ↓ 瓦礫処理の対策の立案、道路の応急復旧工法の立案 イ)浸水した市街地の排水対策支援 防潮堤の被災状況・周辺の地盤沈下状況の把握、排水機場の被災状況の把握 ↓ 応急対策の検討・立案(大型土のう等による防潮堤の仮復旧、仮排水路の整備、仮ポンプ排水の検討) ウ)河川の2次災害防止対策 河川の破堤箇所等、2次災害発生危険箇所の把握 ↓ 次期増水期に向けた応急対策の検討・立案 エ)下水道の応急復旧支援 下水道については、全国ルールに基づき、管渠、処理場等の被災調査、応急復旧対策を検討・立案	○被災状況調査～応急復旧対策立案 3月末まで (1週間単位で交替)	4班(道路、河川、港湾、 下水) 計20名程度(5名×4班＝20名) (班長は震災の初動時経験者約120名から選定)				
			②応急復旧工事の実施支援 ①に基づく応急復旧工事の発注、現場監督を支援	○応急復旧工事実施 H23年4月～5月 (2週間単位程度で交替)	4班(道路、河川、港湾、 下水) 計20名程度(5名×4班＝20名)				

フェーズ別被災地支援メニュー

(6) ライフラインの復旧

部局名	支援項目	(要請に基づく場合) 要請元	支援内容	支援時期(期間)	支援可能 数量(人員)	対応状況
企業庁	水道の復旧(給水車の派遣、職員の応援等)		給水を受けられない住民への保存飲料水の供給および給水車からの運搬用資材の供給 ※その他、市町では、日本水道協会の要請に基づき、給水車の派遣や給水袋の供給等を行う。	3月13日～	・保存飲料水 30,000本 ・ポリタンク 750個 ・ポリ袋 3,000枚	一部実施済み
健康福祉部		被災県	水道復旧のための人材派遣に関する県内市町水道事業者との連絡・調整	【時期】 支援連絡要員による被災地のニーズ把握・被災県からの要請等に基づき実施		

(7) 遺体の対応

部局名	支援項目	(要請に基づく場合) 要請元	支援内容	支援時期(期間)	支援可能 数量(人員)	対応状況
健康福祉部	監察医の応援(死体検案)	厚生労働省	死体検案への協力	日本法医学会が中心となって対応しており、まず関東・甲信越地域と中部地域の法医が対応予定		
健康福祉部	遺体の火葬受け付け	被災県	県内市町の火葬場の受入可能数を把握・調整の上、市町に対して遺体の火葬を依頼	【時期】 支援連絡要員による被災地のニーズ把握・被災県からの要請等に基づき実施		

(8) 教育対策

部局名	支援項目	(要請に基づく場合) 要請元	支援内容	支援時期(期間)	支援可能 数量(人員)	対応状況
教育委員会	震災・学校支援チーム(EARTH)の派遣	県・市町教育委員会等	避難所となった学校の避難所運営支援、または、早期の学校再開が見込まれる地域の学校再開支援、被災した児童生徒の心のケア支援	・本日、宮城県から要請あり。 ・今後、実施内容を調整	過去実績としては、3～6名(県立学校・市町立学校等の教職員で委嘱している者143名の中から選抜、交代派遣可)	